

# メジャーポートRワイド

## 取付説明書 — 基本・縦連棟・ロング柱・H28柱 —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味



**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号



**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>



**警告**

- カーポートは簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。



**注意**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 設置場所の確認をしてください。
  - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
  - ・施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
  - ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
  - ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
  - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
  - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内(屋根・パネルなどで囲んだ内部)にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 柱・梁等の強度部材への孔加工は強度低下の可能性があるので、指定箇所以外へは行なわないでください。

## <施工上のご注意>

### ⚠ 注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

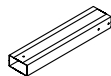

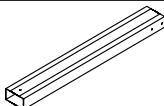
## <基礎工事について>

### ⚠ 注意

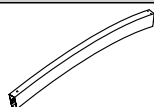
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食の原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

## ■ 梱包明細表

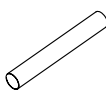
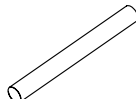
### ① 主柱セット

名 称	略 図	員 数				
		2本入	1本入	ロング 2本入	ロング 1本入	H28 1本入
柱		2	1	—	—	—
ロング柱		—	—	2	1	—
H28柱		—	—	—	—	1
取扱説明書	—	1	—	1	1	1


### ② 梁セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	1本入
梁		2	1

### ③ 縦樋セット

名 称	略 図	員 数	
		L3100	L3900
縦樋 L=3100 φ40		1	—
縦樋 L=3900 φ40		—	1


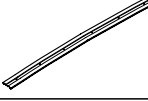
#### 4) ブラケットセット

名 称	略 図	員 数
		2本入り
ブラケット		2

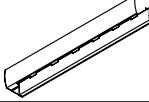
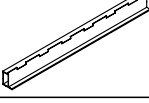
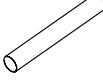
#### 5) 幅セット

名 称	略 図	員 数	
		50型	57型
側枠R		1	1
側枠L		1	1
側枠カバー		2	2
アーチ		6	7
アーチカバー		6	7

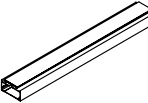
#### 6) 連棟用幅セット

名 称	略 図	員 数		
		50型	57型	14型
アーチ		7	8	2
アーチカバー		7	8	2

#### 7) 長さセット

名 称	略 図	員 数								
		50型			57型			14型		
		2本入り	3本入り	4本入り	2本入り	3本入り	4本入り	2本入り	3本入り	4本入り
後枠		1	1	1	1	1	1	1	1	1
母屋		2	3	4	2	3	4	2	3	4
縦樋 φ40		1	1	1	1	1	1	—	—	—

#### 8) ワイド棟木セット

名 称	略 図	員 数	
		50型	57型
ワイド棟木		1	1

## ■梱包明細表 つづき

### 9部品セット

名 称	略 図	員 数		
		50型	57型	14型
後枠コーナーキャップR		2	2	—
後枠コーナーキャップL		2	2	—
ブラケットカバーR		4	4	2
ブラケットカバーL		4	4	2
ワイド棟木取付金具		4	4	2
ワイド棟木キャップ		2	2	—
アンカー棒		4	4	2
ブチルシーリング材		2	2	1
孔隠しシール		40 (48)	40 (48)	20 (24)
雨樋アタッチメント		2	2	2
雨樋孔ふさぎキャップ		2	2	2
アタッチメントパッキン		4	4	4
ドレンエルボ 40φ用		2	2	2
92°エルボ φ40用		4	4	4
でんでん		6	6	6

名 称	略 図	員 数		
		50型	57型	14型
接着剤		2	2	2
9-① M8×25六角ボルト (SW+PW)		24	24	12
9-② φ5×55サラタッピンネジ		4	4	2
9-③ φ5×16トラスタッピンネジ3種		8	8	4
9-④ φ4×10ワッシャーヘッドネジ		242 (330)	266 (364)	74 (98)
9-⑤ φ4×13ナベピアスネジ		82 (98)	—	32 (38)
9-⑥ φ5×13ナベピアスネジ		—	105 (128)	—
9-⑦ φ4×12トラスタッピンネジ3種		8	8	8
9-⑧ φ4×13ナベピアスネジ		6	6	6
取付説明書	—	1	1	—

**10**屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		3枚入	4枚入
屋根パネル		3	4

**11**連棟部材セット

名 称	略 図	員 数	
		36~54用	60用
後枠スリーブ		2	2
母屋スリーブ		6	8
母屋スリーブ スペーサー		6	8
ワイド棟木スリーブ		1	1
ワイド棟木止水パッキン		1	1
11-① φ4×13 ピアスネジ		82	98
11-② φ4×16 サラピアスネジ		6	8

**12**屋根材ホルダーセット

**オプション**

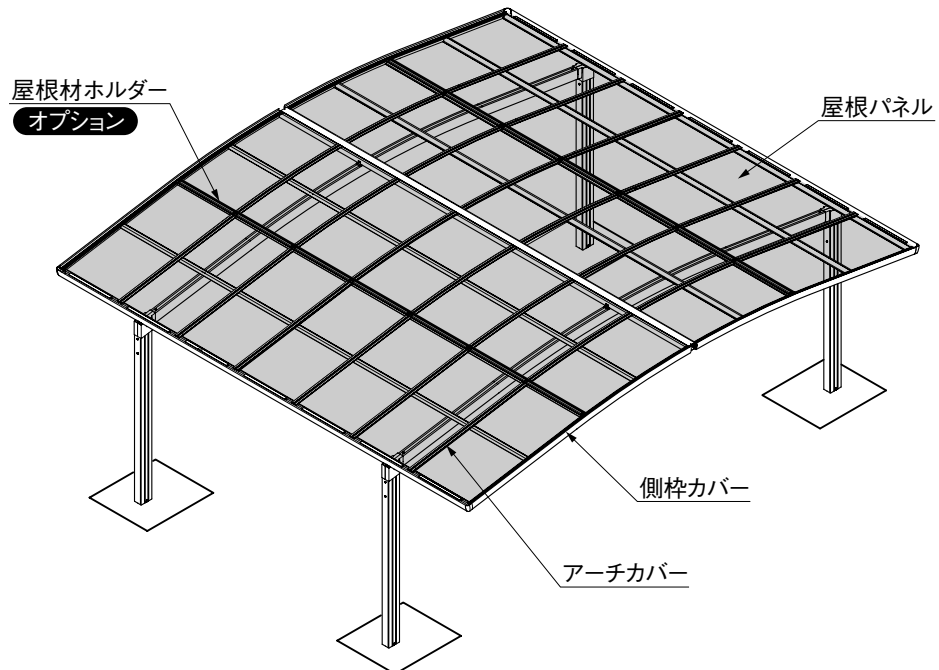
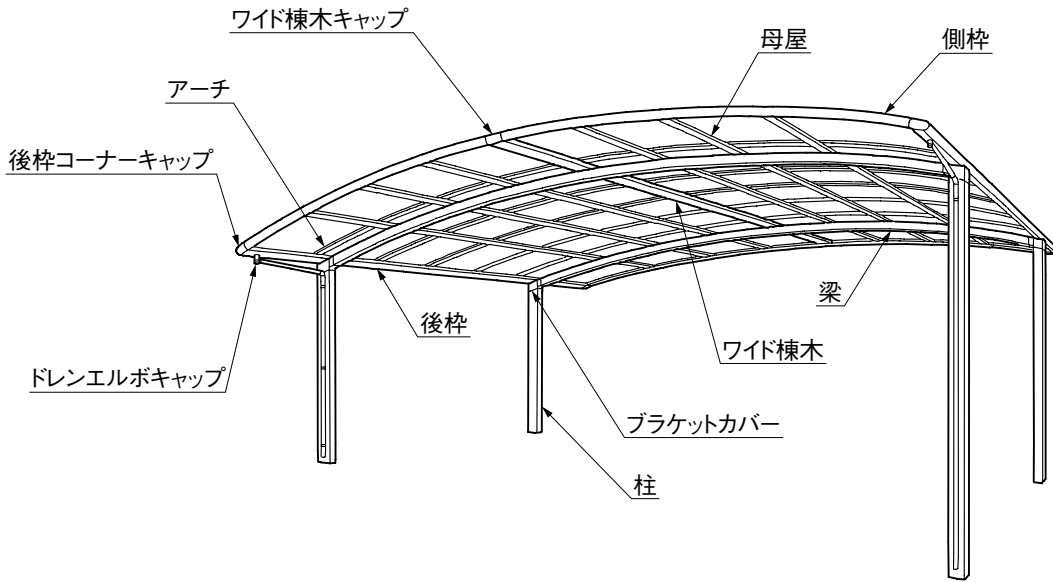
名 称	略 図	員 数		
		50型	57型	14型
屋根材ホルダー		7	8	2
12-① φ5×13ピアスネジ		18	20	5

# INDEX

<b>1 基本寸法と各部の名称</b> .....	7
1. 各部の名称 .....	7
2. 基本寸法 .....	8
<b>2 基本の施工方法</b> .....	10
1. 基礎の施工 .....	10
2. 柱と梁の取付け .....	10
3. ワイド棟木・母屋・後枠の取付け .....	11
4. 側枠・アーチの取付け .....	12
5. 屋根パネルの取付け .....	13
6. 縦樋の取付け .....	16
<b>3 縦連棟の施工方法</b> .....	17
1. 基礎の施工 .....	17
2. 本体の連結 .....	19

# 1 基本寸法と各部の名称

## 1. 各部の名称

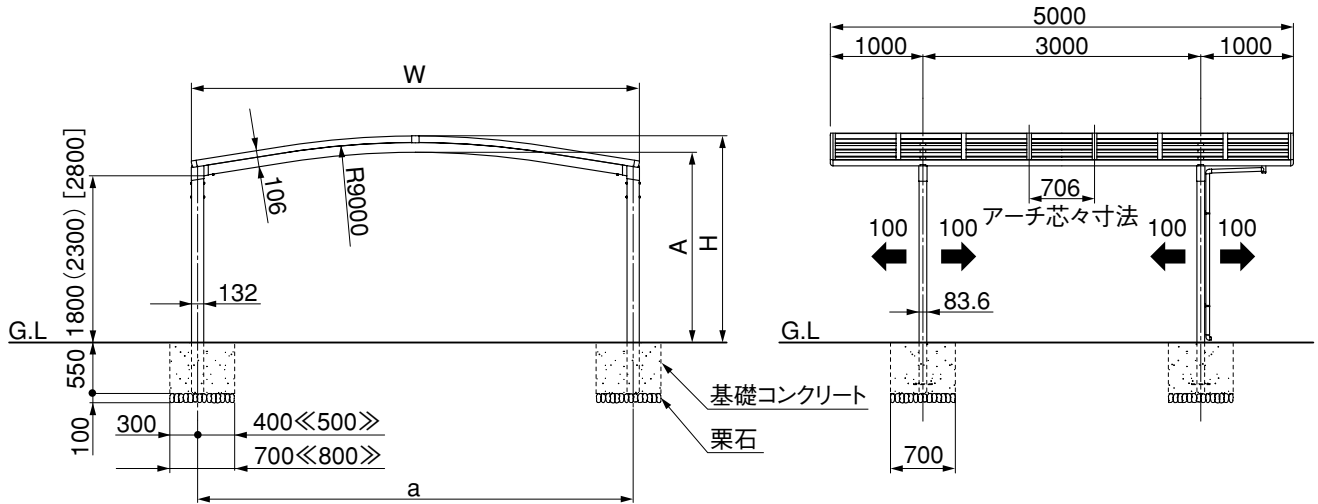


## 2. 基本寸法

※図は標準柱仕様を示します。

( )はロング柱仕様、[ ]はH28柱仕様、< >は奥行57型、<< >>は間口60を示します。

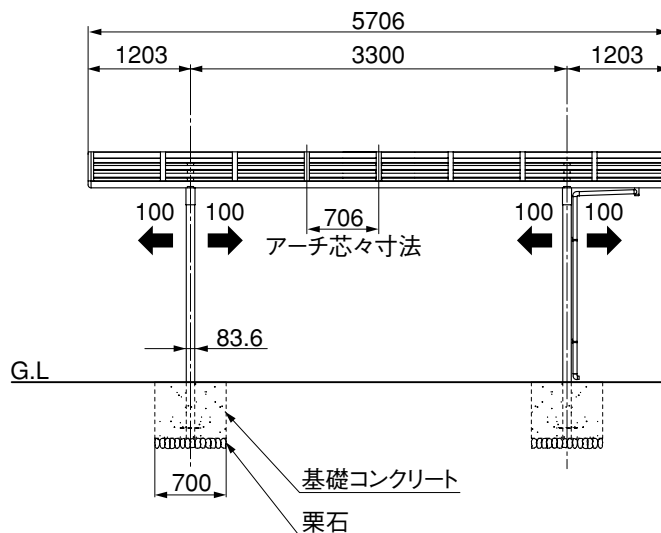
### 2-1 奥行き50タイプ



※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

サイズ	W	A	H	a
36	3625	1957.8 (2457.8) [2957.8]	2136.3 (2636.3) [3136.3]	3491
42	4231	2005.8 (2505.8) [3005.8]	2184.3 (2684.3) [3184.3]	4097
48	4837	2053.8 (2553.8) [3053.8]	2232.3 (2732.3) [3232.3]	4702
51	5140	2077.8 (2577.8) [3077.8]	2256.3 (2756.3) [3256.3]	5006
54	5443	2101.8 (2601.8) [3101.8]	2280.3 (2780.3) [3280.3]	5309
60	6061	2216.1 (2716.1) [3216.1]	2394.6 (2394.6) [3394.6]	5924

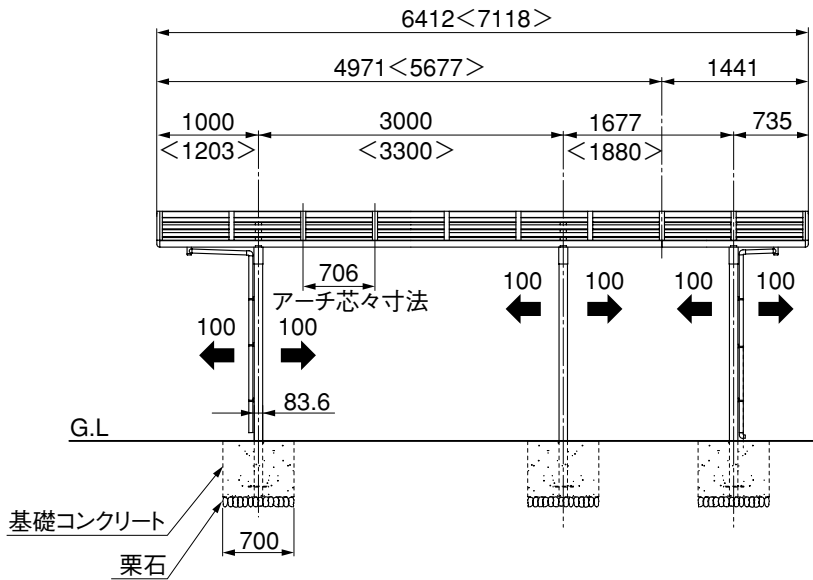
### 2-2 奥行き57タイプ



※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

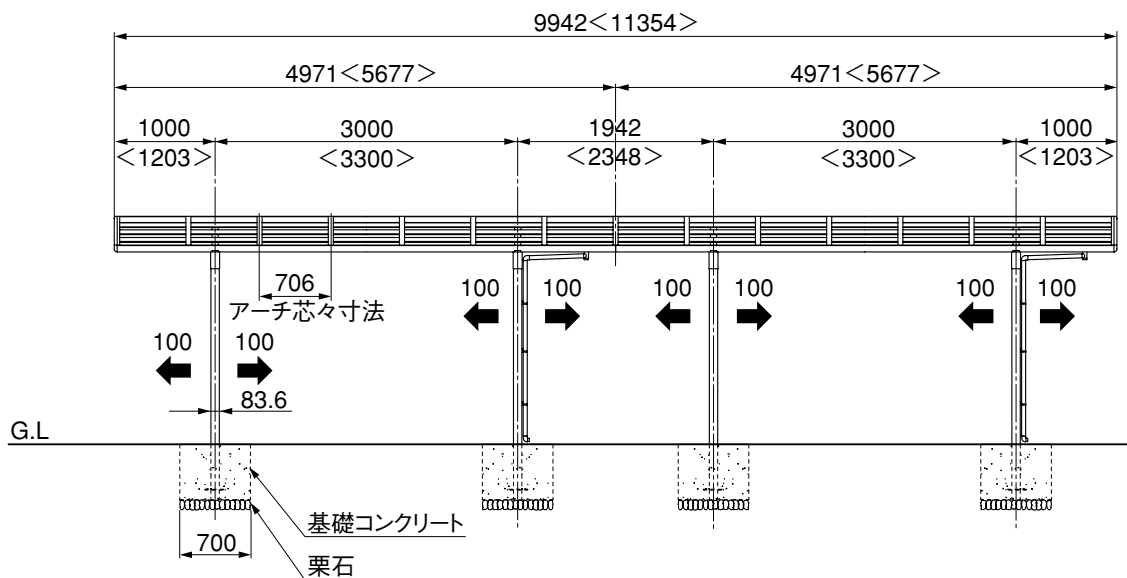


### 2-3 奥行き14延長縦連棟タイプ



※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

### 2-4 奥行き縦2連棟タイプ



※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。

## 2 基本の施工方法

### 1. 基礎の施工

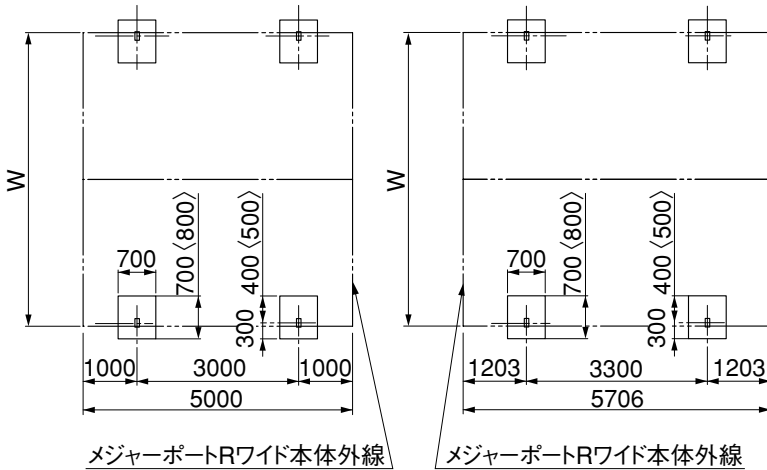


図1-1 50サイズ

図1-2 57サイズ

① 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

#### 補足

- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は60サイズの場合を示します。

サイズ呼称	W
36	3625
42	4231
48	4837
51	5140
54	5443
60	6061

### 2. 柱と梁の取付け

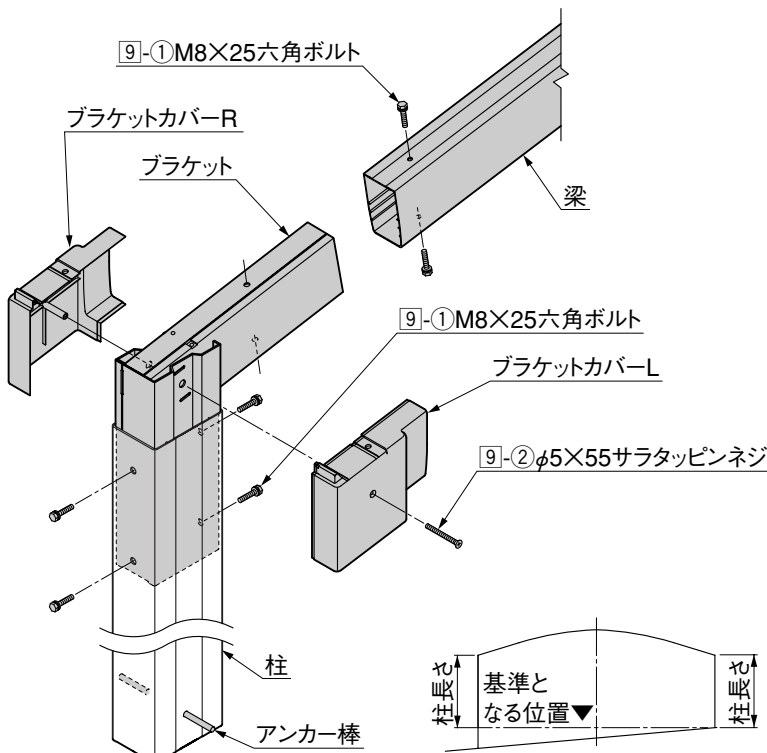


図2-1

図2-2

- ① 柱にアンカー棒を差込んでください。
- ② 梁をブラケットに⑨-①で取付けてください。
- ③ ブラケットを柱に⑨-①で取付けてください。
- ④ ブラケットカバーR、ブラケットカバーLを⑨-②で取付けてください。

#### 注意

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。

#### ポイント

- 基準となる位置からの柱長さを同じにしてください。長さが違う場合は、ワイド棟木部に水がたまり、漏水するおそれがあります。(図2-2参照)

### 3. ワイド棟木・母屋・後枠の取付け

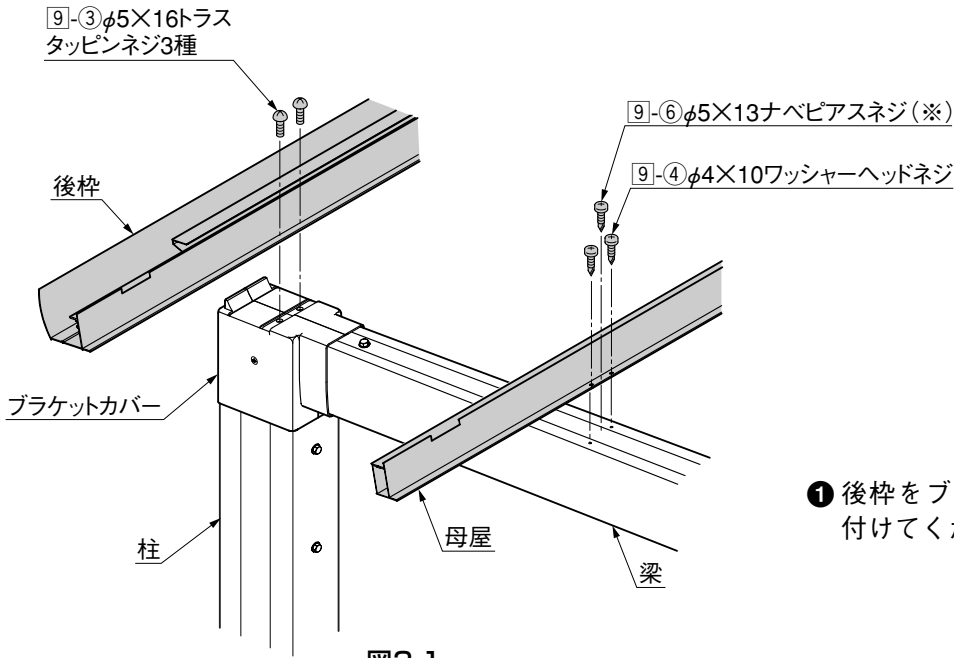


図3-1

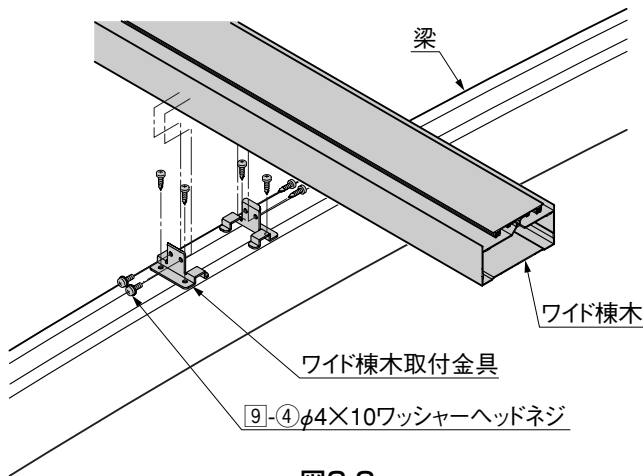


図3-2

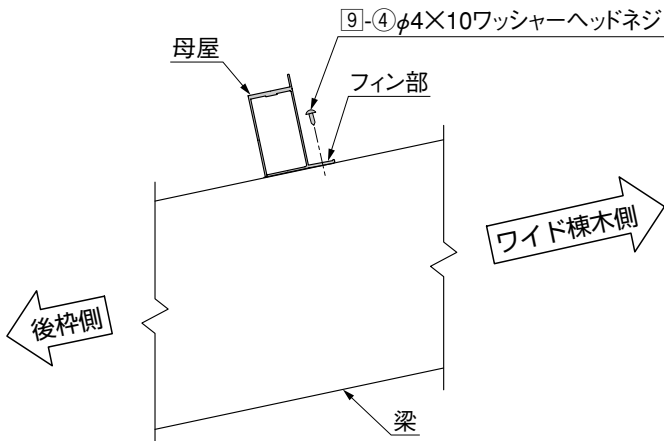


図3-3

❶ 後枠をブラケットカバーに9-③で取付けてください。(図3-1参照)

❷ 梁の中央部にワイド棟木取付金具を9-④で取付けて、ワイド棟木を9-④で固定してください。(図3-2参照)

❸ ワイド棟木側にフィン部を向けて、母屋を梁に9-④で取付けてください。(図3-3参照)

#### 🔑ポイント

- 奥行57型は、9-⑥を追加して取付けてください。(※)
- 柱を移動した場合は、ワイド棟木・後枠・母屋を梁に合わせて後枠はφ5.5、ワイド棟木はφ3.5、母屋はφ4.5の穴加工を行なってください。
- 既存の加工穴には孔隠しシールを貼ってください。

## 4. 側枠・アーチの取付け

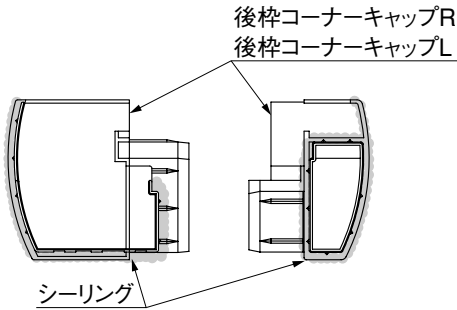


図4-1

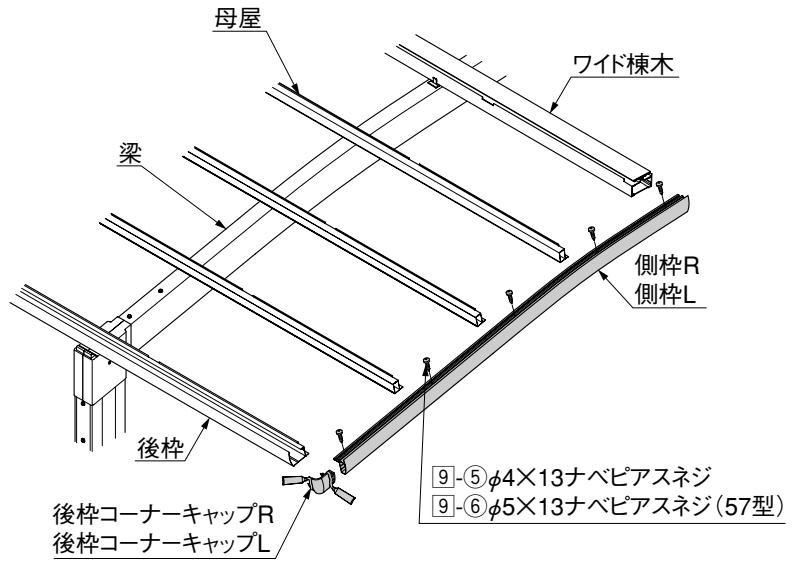


図4-2

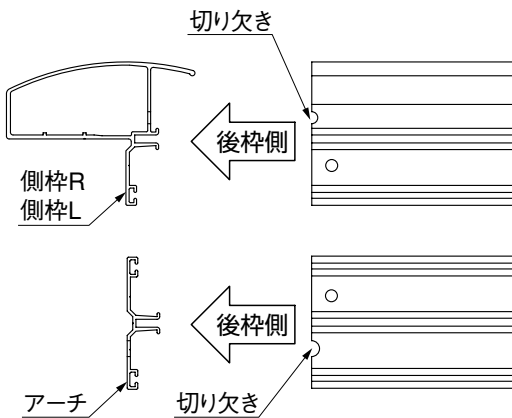


図4-3

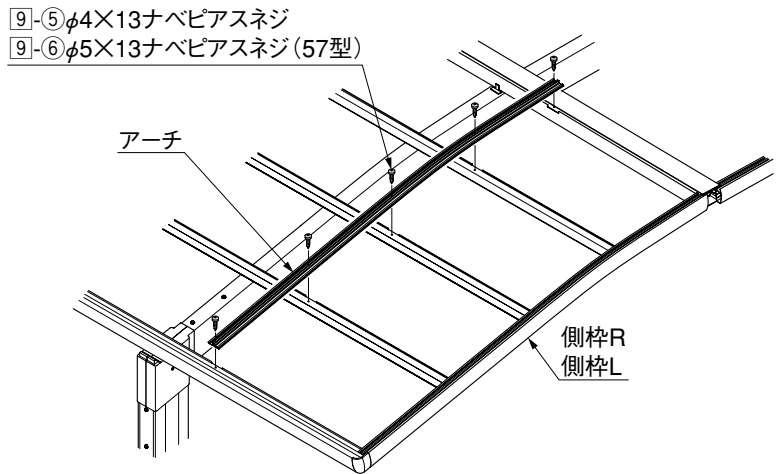


図4-4

- ① 後枠コーナーキャップR・後枠コーナーキャップLにシーリング材を充てんして、側枠R・側枠Lに取付けてください。（図4-1、図4-2参照）

### ポイント

- 側枠R・側枠Lには左右があります。切り欠きが入っている方を後枠側にしてください。（図4-2参照）

### 補足

- 指定の箇所シーリングしてください。（図4-1参照）
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。

- ② 後枠・母屋・ワイド棟木に側枠R・側枠Lの穴に合わせて9-5または9-6で取付けてください。
- ③ アーチの前後を確認して、ワイド棟木・後枠・母屋にアーチの穴に合わせて9-5または9-6で取付けてください。（図4-3、図4-4参照）
- ④ 屋根枠まわりの対角・水平出しおよび柱の垂直出しをしてください。

### 補足

- 後枠、母屋・ワイド棟木には加工穴はあいていません。

## 5. 屋根パネルの取付け

### 5-1 屋根パネルの取付け手順

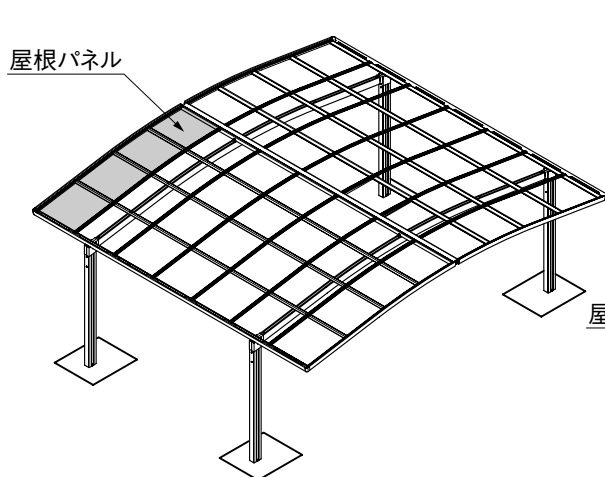


図5-1 屋根パネルの取付け

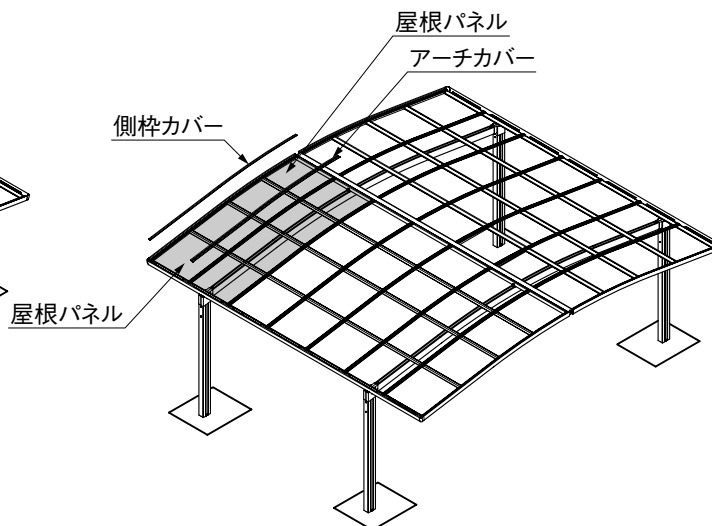


図5-2 側枠カバー、アーチカバーの取付け

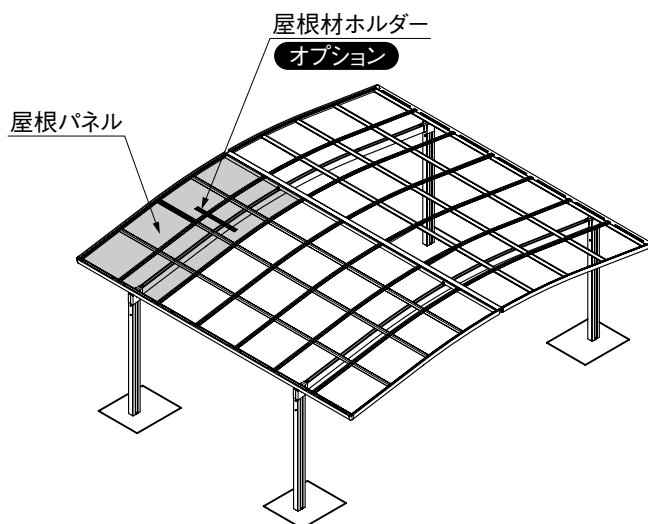


図5-3 屋根材ホルダーの取付け(オプション)

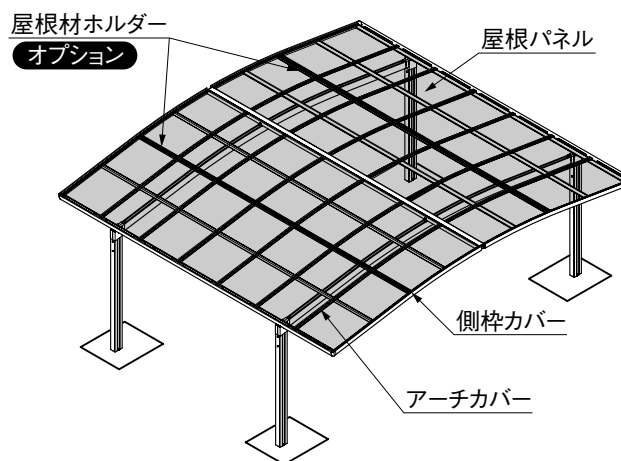


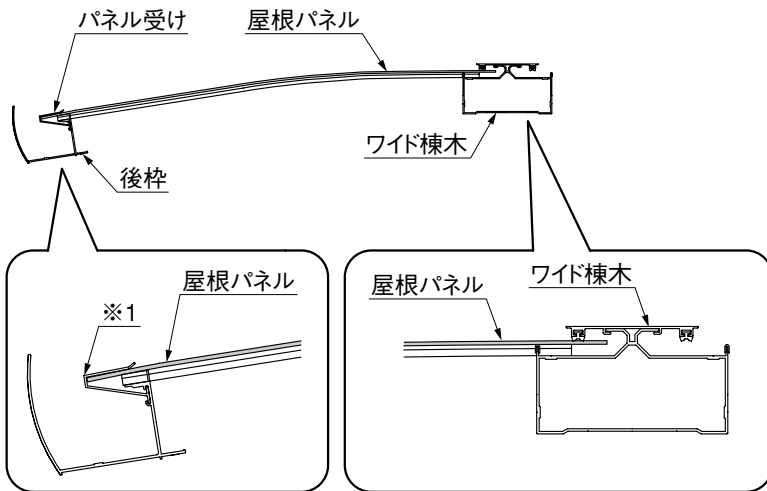
図5-4 取付け完成図

#### ポイント

- 屋根パネル・側枠カバー・アーチカバー・屋根材ホルダーの取付け順序は必ず守ってください。正確な取付けができないおそれがあります。

## 5. つづき

### 5-2 屋根パネルの取付け



- 1 屋根パネルをワイド棟木に差込み、パネル受けに差込んでください。

#### ポイント

- 屋根パネルは、後杵側に突き当ててください。(※1)
- アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。
- 屋根パネルは必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

### 5-3 側杵カバー・アーチカバーの取付け

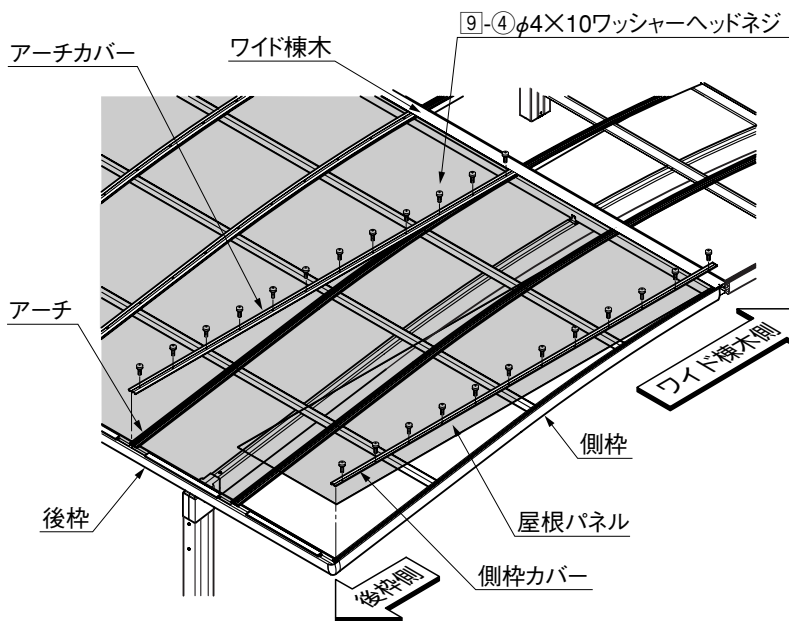


図5-5

- 1 アーチカバー・側杵カバーをワイド棟木に突き当てて、ワイド棟木側からアーチに9-4で取付けてください。(図5-5参照)

#### ポイント

- アーチとアーチカバーがかみ合っていることを確認してください。
- 2 アーチカバーとワイド棟木との間と側杵カバーとワイド棟木の上にシーリング材を充てんしてください。(図5-6参照)
  - 3 ワイド棟木キャップをワイド棟木に9-4で取付けてください。
  - 4 ワイド棟木とワイド棟木キャップの間にシーリング材を充てんしてください。

#### 補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。(図5-6参照)
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。
- シリコンシーリングを行なう場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。(表5-1参照)

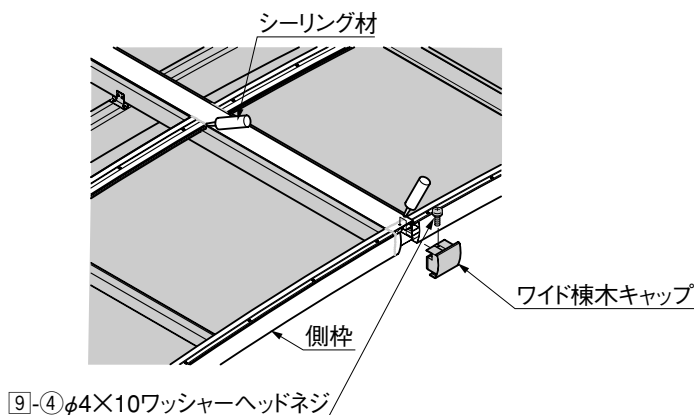


図5-6

表5-1

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコン	トスシール380
トーレシリコン	SE960

## 5-4 屋根材ホルダーの取付け **オプション**

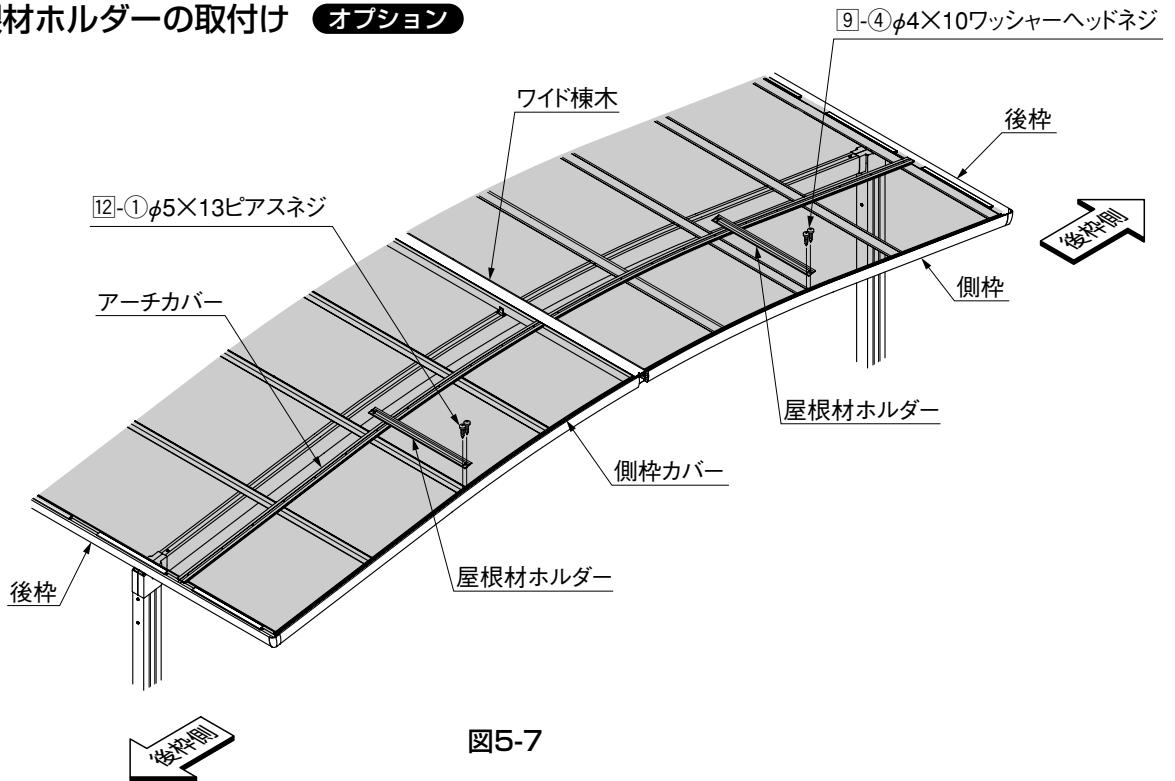


図5-7

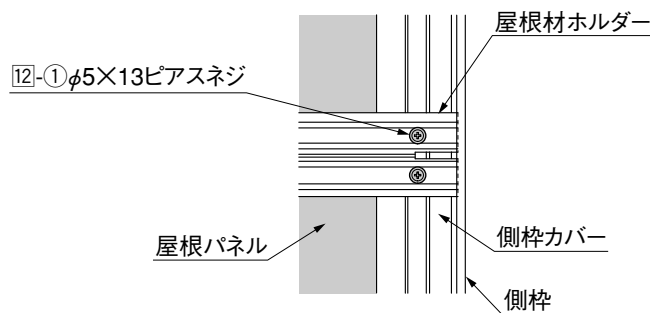


図5-8

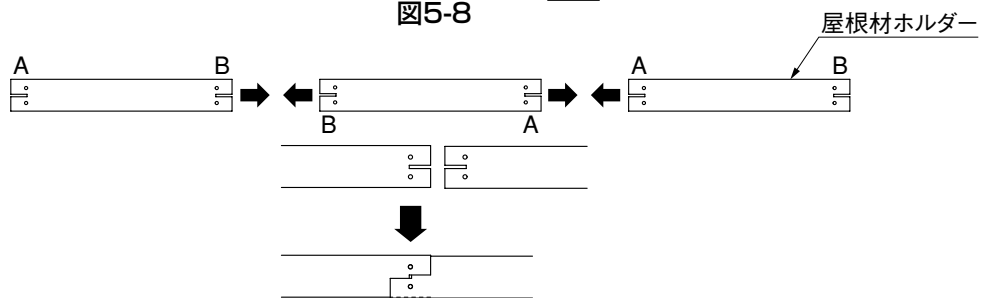


図5-9

- 1 屋根材ホルダーを後枠側から数えて、2本目の母屋の真上の位置に12-①で取付けてください。(図5-7参照)

### 🔑ポイント

- 側枠カバー側のネジだけを固定して、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定してください。(図5-8参照)
- 2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切り込み部分をかみ合わせるように取付けてください。(図5-9参照)
- アーチカバーには、屋根材ホルダー取付用の穴はあいていません。

## 6. 縦樋の取付け

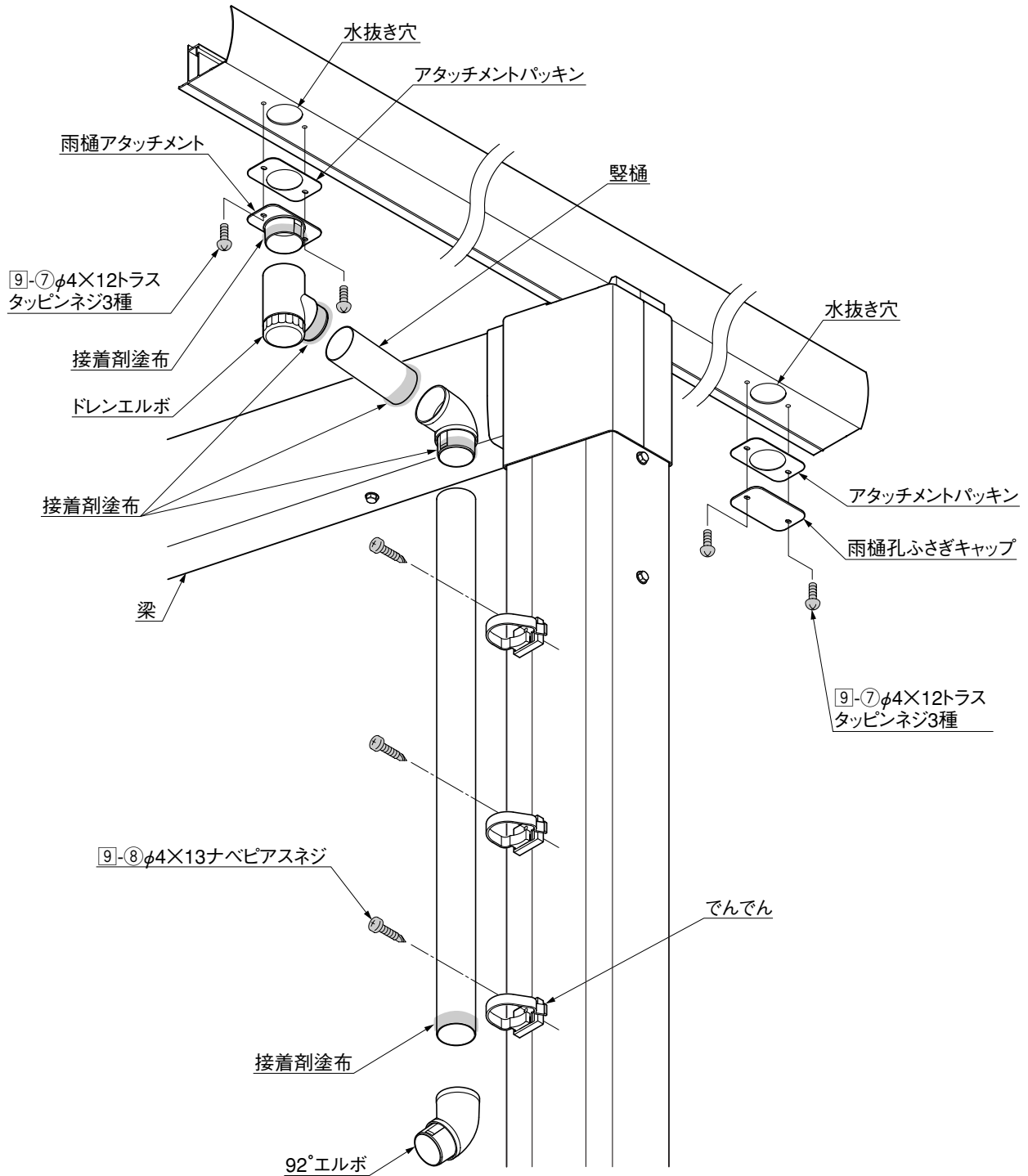


図6-1

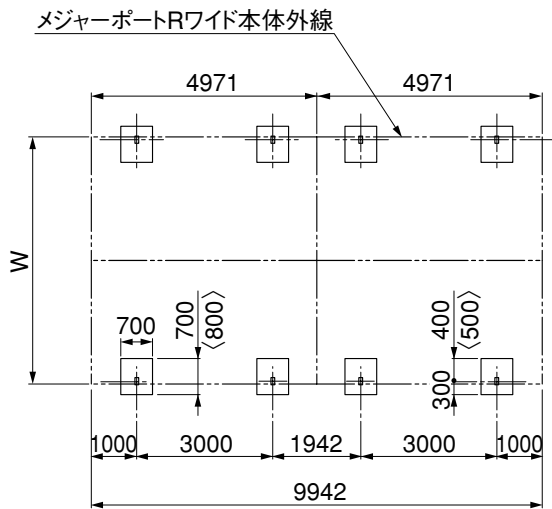
- ① 後枠両端の片方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋アタッチメント、ドレンエルボ、縦樋、92°エルボ、でんでんを接着剤と9-7、9-8で取付けてください。
- ② もう一方の水抜き穴に、アタッチメントパッキン、雨樋孔ふさぎキャップを9-8で取付けてください。



### 3 縦連棟および延長タイプの施工方法

## 1. 基礎の施工

#### 1-1 50サイズ+50サイズ



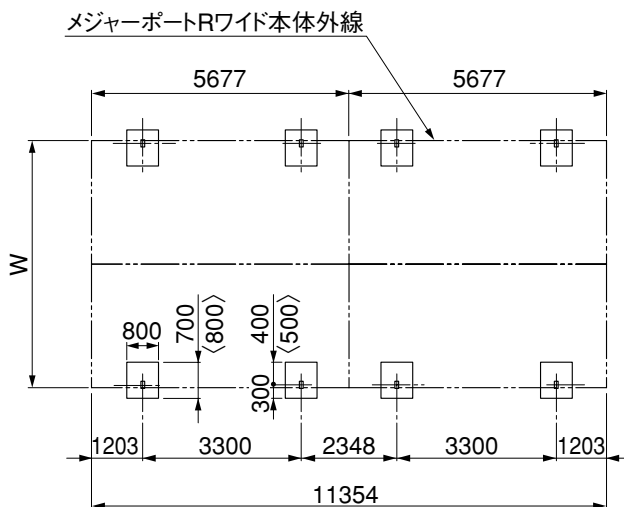
① 柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

#### 補足

- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は60サイズの場合を示します。

サイズ呼称	W
36	3625
42	4231
48	4837
51	5140
54	5443
60	6061

#### 1-2 57サイズ+57サイズ



① 柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

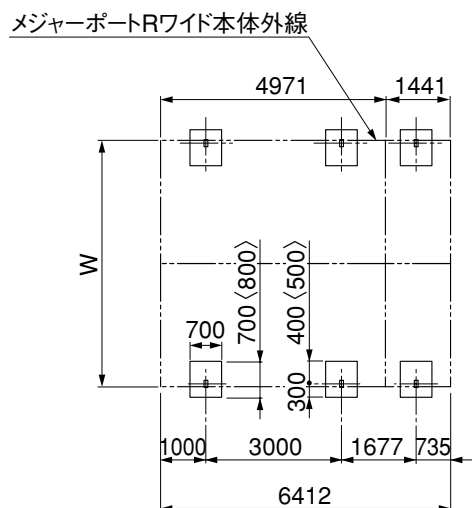
#### 補足

- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は60サイズの場合を示します。

サイズ呼称	W
36	3625
42	4231
48	4837
51	5140
54	5443
60	6061

# 1. つづき

## 1-3 50サイズ+14サイズ



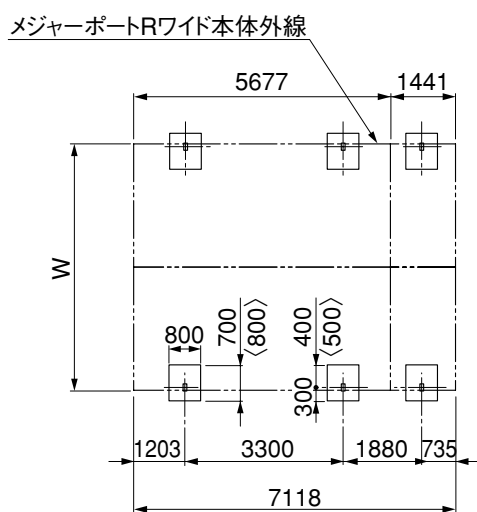
- ① 柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

### 補足

- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は60サイズの場合を示します。

サイズ呼称	W
36	3625
42	4231
48	4837
51	5140
54	5443
60	6061

## 1-4 57サイズ+14サイズ



- ① 柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

### 補足

- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内ですが柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- 〈 〉内寸法は60サイズの場合を示します。

サイズ呼称	W
36	3625
42	4231
48	4837
51	5140
54	5443
60	6061

## 2. 本体の連結

### 2-1 連棟部の加工 ※ ( ) 内寸法は、モダンカラー用の場合です。

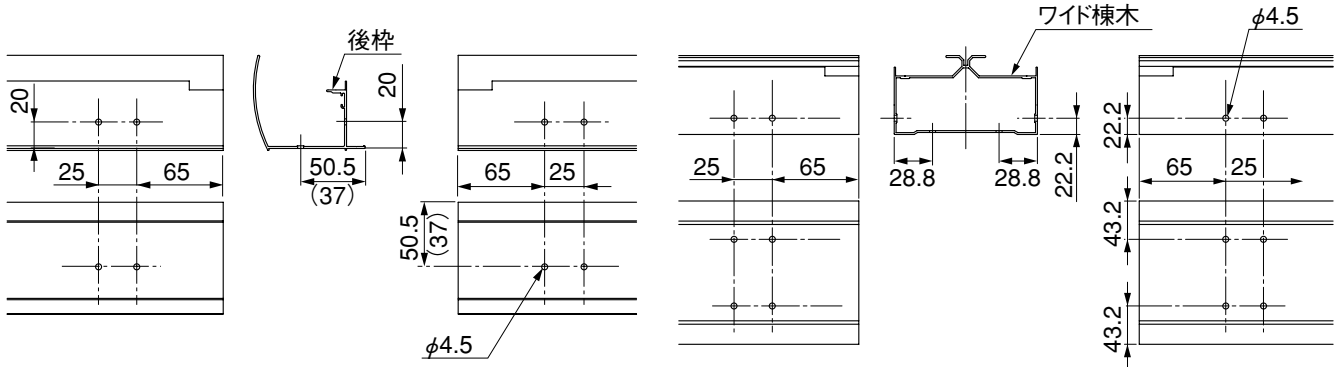


図2-1 後枠の加工

図2-2 ワイド棟木の加工

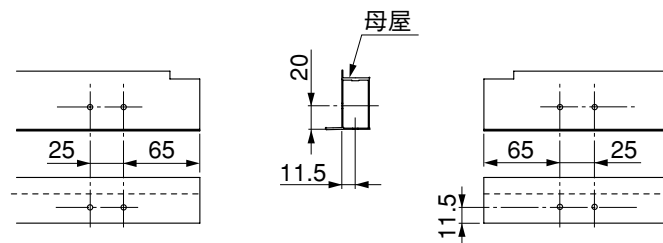
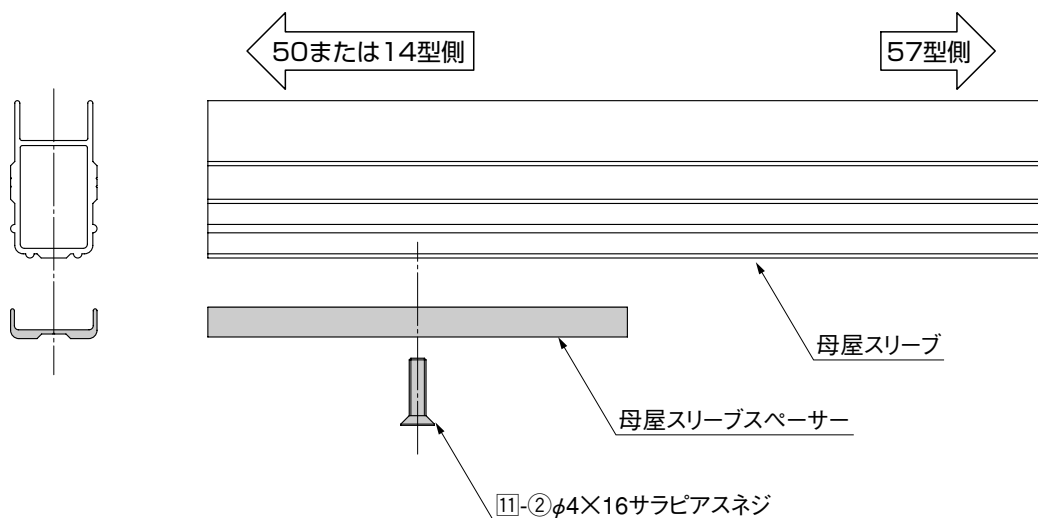


図2-3 母屋の加工

- ① 後枠・ワイド棟木・母屋の連棟側を穴加工してください。(図2-1、図2-2、図2-3参照)

### 2-2 母屋スリーブスペーサーの取付け

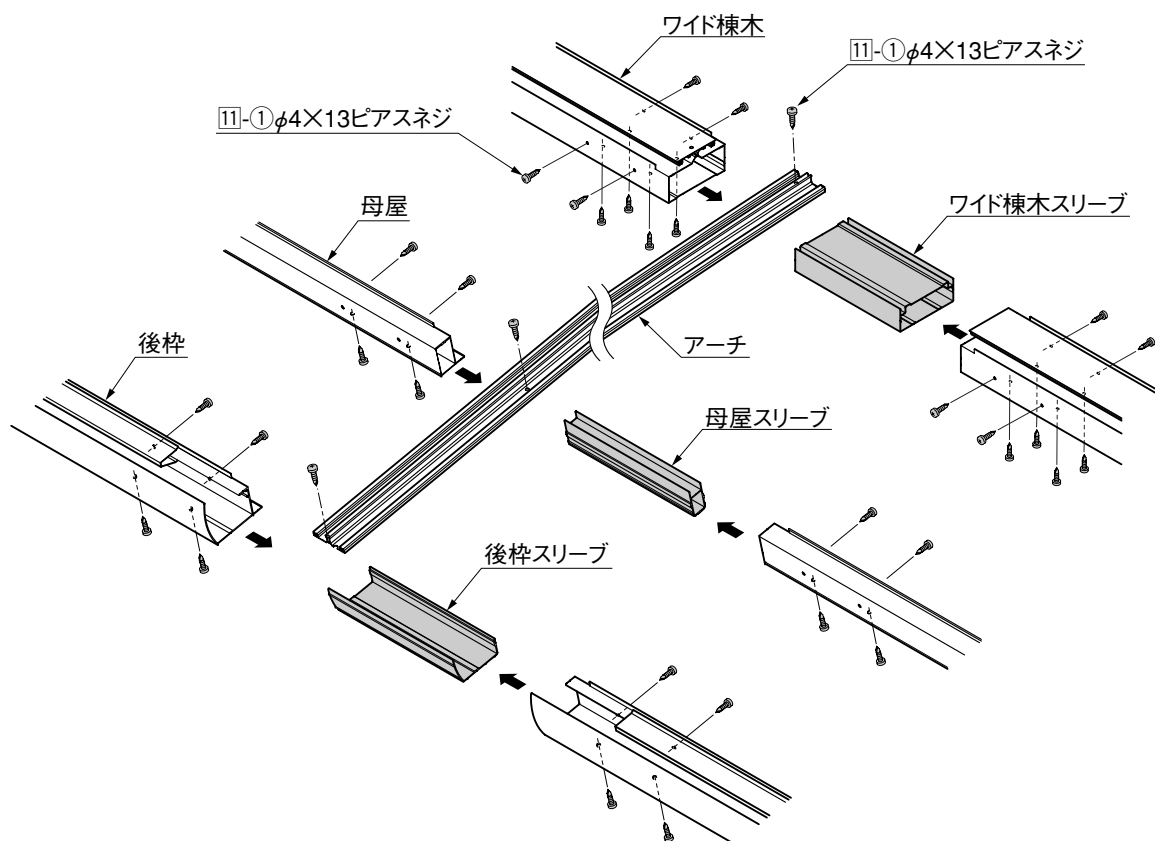


#### ポイント

- 57型の母屋と50または14型の母屋を連棟する場合のみ行なってください。
- 57型同士、50型同士、50型と14型の連棟では母屋スリーブスペーサーの取付けは行ないません。

## 2. つづき

### 2-3 連棟部の連結



- ① ワイド棟木・母屋・後枠にそれぞれワイド棟木スリーブ、母屋スリーブ、後枠スリーブを11-①で取付けて連結してください。
- ② 全ての11-①の回りにシーリングをしてください。

#### ポイント

- 連棟部分以外の組立ては、「2.基本の施工方法」を参照してください。

#### 補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。

## 2-4 シーリング処理

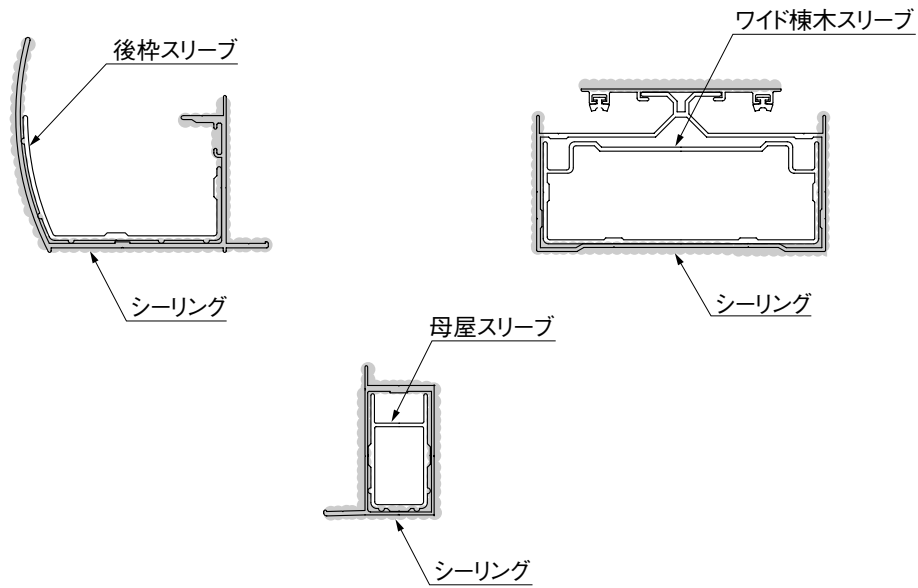


図2-5

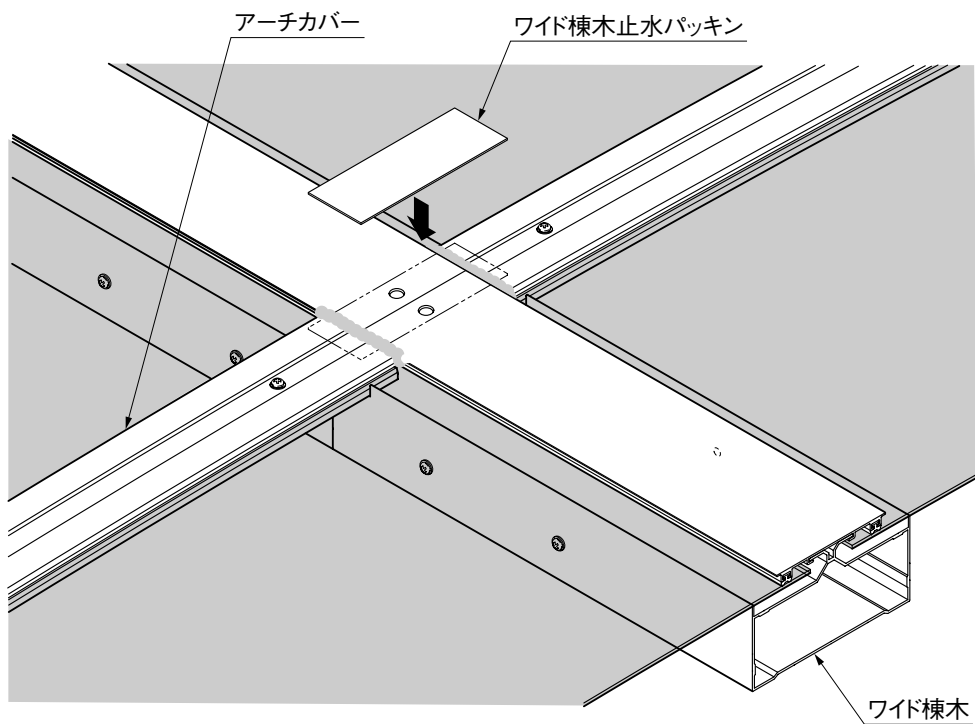


図2-4

- ❶ 連棟部分にシーリングをしてください。(図2-4参照)
- ❷ ワイド棟木の接続部分に、ワイド棟木止水パッキンを貼付けてください。(図2-5参照)

### ✎ 補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。

# メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



**INDEX**

取説コード

**D343**

UMU603113A  
200502A\_1007  
200601B\_1007